

青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成28年度 第138号 3月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

水曜クラブ特集

青木村児童センターでは、地域の方々を講師にお迎えして、月に2回水曜日にクラブ活動を行っています。この日を楽しみにしている小学生は多く、水曜クラブのある日はセンターを利用する子どもたちが増えています。



たくさんの出会いと体験

青木村児童センター所長 高田 玲子

水曜日の午後3時。授業が終わり青木小学校の玄関から子どもたちが勢いよく飛び出してきました。児童センターへ向かってくる子どもたちは階段を下りるのがもどかしいのか、みんな階段わきの土手を駆けおります。下駄箱では先を争って靴を脱ぎ、児童センターの受付には長い列ができました。



「水曜クラブ、何やる？」

「オレ、もう決めてるー！」

名前を書く順番を待ちながら、「早く書いて！」と前の人をせかせています。

青木村児童センターでは月に2回、水曜クラブが行われています。講師は青木村のその道の達人です。今年度は12のクラブが活動をしました。毎回やりたいクラブを自由に選ぶことができ、それぞれのクラブの先生から多くのことを学び、楽しく時間を過ごします。毎日子どもたちでいっぱいの児童センターが、水曜クラブの日はさらに賑やかになります。

水曜クラブは平成18年に6つのクラブで活動が始まり、今年度は11年目になりました。

地域の大人と子どもの関わりが少なくなり、現代の子どもたちは学校と家庭の往復だけになりがちです。でも水曜クラブの時間は地域のおじちゃん・おばちゃんと和気あいあい過ごし、笑顔と元気な声が児童センターにあふれます。

楽しみにしているのは子どもだけではなく、水曜クラブの先生方も子どもたちに会えるのを心待ちにし、愛情をたっぷり注いでくださっています。

水曜クラブは子どもたちと地域の方との大切な出会いの場であり、多くの体験の場でもあります。ここでの出会いや体験で子どもたちは大きく成長しています。



囲碁

山本悟さん

今は亡き尊敬する、児童センター開設当初から講師をしていたFさんに誘われ「囲碁クラブ」講師を平成20年からしています。挨拶がちゃんとでき、異年齢とは思えないはつらつとした言動に元気をもらっています。同じ児童に継続的段階的に指導はできませんが、またいつか碁石を握ってくれたらと思います。先日の村の成人式の会場で、立派に成長したかつての子ども達の姿に感動しました。



ゲートボール

上原喜四男さん

ゲートボールは1947年(昭22年)、子ども達のために日本で考案されたスポーツで、現在では世界大会も実施されるようになりました。「考察力」「判断力」「決断力」「チームワーク」を必要とし、子ども達のこれからの成長にも大変役に立つスポーツです。おかげさまで子どもと一緒にやっていると歳を取りません。私の方が育てられています。



早川賢子さん

水曜クラブでゲートボールを始めて早9年、一年生で出会った子どもさん達が今年は高校生！感無量です。毎回変わる10人の子ども達に、仲間の大切さ、ゲートボールの面白さを伝えられたら嬉しいです。第1ゲートを通った時のみんなの嬉しそうな笑顔☺と笑い声に接し、私達も元気をいただいております。



自転車

上原英雄さん

自転車クラブは、児童の交通安全と自転車の安全な乗り方を身につけることを目的として行っています。県内でも自転車がかかわった事故が時々報告されています。子ども達とは、自転車での事故や道路への飛び出しによる事故の防止など、自分の命は自分で守ることを確認し合っています。自転車大会用の自転車を使用しているので低学年には少し大きいのですが、できた時の子どもの笑顔がとても印象的です。





柔道

柳沢才吉さん

何人来るのか楽しみに水曜クラブに来ています。少なくとも寂しいし多くても目が届かなく大変です。主に受け身を教えています。上手な転び方を覚えて自分の頭や体を自分で守れるようにしてもらいたいです。技は背負い投げと内股を教えています。柔道着のたたみ方や挨拶なども覚えてもらっています。一人でも多くの児童に柔道の面白さを感じて欲しいと思っています。



将棋

浅見公一さん

児童センターの将棋クラブを担当して早4年。館内に入った瞬間、子ども達が元気に駆け回り、大きな声に思わず圧倒されたことが昨日のように思い出されます。子ども達の喜々とした顔、将棋を通じての子ども達と目と目を合わせてのふれあい、楽しいひと時。子ども達の健やかな成長を心から願っております。



田中務さん

子ども達が飽きないように雑談をしながら、楽しく毎回将棋をしています。回を重ねるにつれ、子ども達の方から「一緒に将棋をやろう！」と声を掛けてきてくれるのが嬉しいです。



書道

小林茂さん

子ども達に書道を教えています。低学年の初心者がほとんどですが、だんだん続けて来る子どもも増えてきました。続けて書いているうちにだんだん上手になってきています。初めてでも堅苦しくなく、楽しく書道に向き合えるきっかけになるよう心掛けて教えています。ひとりでもふたりでも書に興味を持つ子どもが増えるよう頑張ります。





そろばん

東川政子さん

そろばんを初めて習う子ども達。ハイテク時代の中、今の社会にそろばんの役割が見直されてきています。電卓は確かに便利ですが、自分で頑張って答えを出す忍耐力、集中力、計算感覚を身につける道のりが大切だと思います。子ども達と切磋琢磨しながら楽しいよと言われるクラブにしたいと思っています。子ども達と関わった時間はとても貴重で嬉しかったです。



チャレンジ

川島隆さん

大勢の子ども達が参加してくれて嬉しかったです。その都度その時の単発ですが、頭の隅に残ればと思い、色紙、カメラマン、絵手紙、抹茶等々行ってきました。簡単な説明でも真剣な眼差しで聞き、理解するのも早く、初めて作る作品もみんな良くできていました。出来た作品は家に持ち帰ってもらっています。陽気が良くなれば、屋外でも楽しみたいと思っています。



電気

沓掛正一さん

電気クラブでは、エナメル線と磁石を使ってモーターや電気ブランコを作ったり、銅線を切ったり曲げたりして、ハンダを使って花や昆虫など自分で考えたアクセサリーを作って楽しんでいます。お母さんのためにプレスレットを作る児童もいます。ハンダ付けは楽しいようで一年生でもなかなか上手です。下校後の中学生がオーストラリアの留学生と見に来てくれた日もありました。





なかよし

沓掛道子さん

ゲームから始めた「なかよしクラブ」。2年がたちました。新聞・広告・包装紙・折紙で遊べるものを折ったり切ったり。毛糸で鎖あみ・手まり作り。紙・布テープで帽子やかごを編んだり、押し花もようを作ったり。何をするのか当日までお楽しみのクラブです。どんな小学生と出会えるのか毎回楽しみにしております。



田村代志子さん

いつも明るくて元気な子ども達ですが、作る時はとても集中しています。毎回皆さんそれぞれ個性的な作品ができ、とても楽しかったです。



ルービックキューブ

塚田真也さん

とにかくあっという間の一年間でした。前回の水曜クラブでの子どもたちの反応を踏まえて「次の水曜クラブではもっとこうしてみよう」と進め方を反省し、そして違うやり方を試みることの繰り返しだったように思います。思い通りに進められない楽しさと、「子どもから学ぶことの多さ」に改めて気付かされました。



英語で遊ぼう

スタイン・マッケンジー・デビット

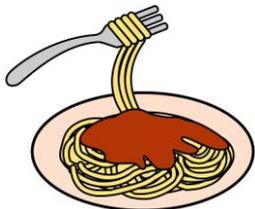
アメリカのキックボールやフリスビー、トランプゲームや私が子どもの頃にした遊び、お正月のカード作りなどをしました。英語を覚えるというよりも、アメリカの文化を知ってもらいたいと思ってやっています。英語のニュアンスや考え方なども理解してもらえたらと思います。1年間とても楽しかったです。



はつらつ先生 IN あおき

今回は、青木小学校5年2組担任 下島 美穂 先生です。

- 好きな食べ物…麺類。特にスパゲッティ。自分では和風スパゲッティを食べたいのですが、子ども用にナポリタンやミートソースをよく作っています。夏はビール、冬はチューハイをよく飲んでいきます。



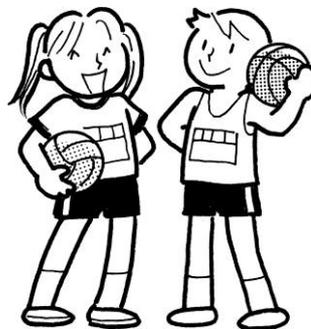
- 苦手な食べ物…牡蠣、ホタルイカ、アボガド、レバー。
- 趣味…スポーツ全般。特に球技が好きです。中学生の時はバスケットボールをしていました。高校生からは硬式テニスを始めて、今は子どもと一緒にプレーをしています。



- どんな子どもでしたか？…小学校の頃は毎日男の子と外で遊んでいました。ドッジボール、缶蹴り、鉄棒などが好きでした。冬は学校敷地内に作られたスケートリンクで滑っていました。



- 先生にならなかつたら？…スポーツキャスターに憧れていました。今でいうと松岡修造さんのような熱く語る姿や分かりやすい解説が素晴らしいと思っています。



- 好きな有名人は？…今は、錦織圭です。スポーツを観戦するのが好きなのでその時活躍している選手を応援しています。他には、ジャンプの高梨沙羅、卓球の石川佳純、ゴルフの宮里藍を応援しています。子どもの頃は父が相撲をよく観ていたので千代の富士が好きでした。
- お休みの日は何をしていますか？…子どもが陸上班とテニス班なので、その送迎と応援をしています。

編集後記

子どもも保護者も毎年水曜クラブを楽しみにしています。来年度も講師の先生方、どうぞよろしくお願いいたします。

今月から岩下鈴香さんがコーディネーターに加わりました。よろしくお願いいたします。

